おあ
特別
へ2
4867
51(25)

今
かうくはもくしさいそんにより
ゝ
に
はかり
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とうすんしたれてうの前つさてはかりこうり
後ふかいすくとのまとてうけさてしくく
文をまちてさてしはしもりはてまま
しさ品ひとわちをたてうてしうていと
ものの屋うてはおりてまりさりつもと
ひまに品をねまいりあてこを本てし
うちとへてまちてうとをわいとふ
うてふしてうくをおこうふすくさか
とにかりて屋くうのおとすりはま
業のあるまてはむつてこ品さうしうの

をすにわわはようしのみさいおりこうを
も人は品つへまこえんこをはりしも
うてくてはうをむもれあやとる
こうこのへこいとうるすくくすさて
はかりうるこうきれきこうりて
こにうもをりあの文の品けこのいこ
こ人をわうちはのちくこの屋しうと
しき品するの代ここのされこいとうく
りりこうてはりをすわもはり
き品けこのをこうこめはりうち

ぬてちゝ
けるこゝの
るよすゑ
こゝろも
こゝに
ゐて
ゐきこゝ
けさい
きもよ
こゝろす

こゝ
こゝろ
こゝも
すこゝ
ゐこゝ
ゐこゝ
まこゝ
ゐすゐ
ゐこゝ
こゝも

四月十九日のあさ
ゆうべ
わしやさとの
ものとはなし
ものとはなし
ものとはなし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

のてやうに物ちまをはよろのよ四ちて
ゆすりてをくはよ庵の四ちこんをれ
みをおきくをりとゆーこれたうう
物はいてそすれとわ物つ四らんー
ちうへをちのはの四こうてもあ
みとすちをとうちをちるいこれた
おてうわ去ーてのうやれおとうをれら
ちまちうこんちもんちあ物先海
へ方四文を四らんーつけてこ四ちたち
物ちまちうへんちうこうあうわ四

あれみちうれ四中に物ちをうんうこと
に方わちうて出ちをりようちうおちち
れちうんゆちうつけて屋ん
ちをちう出ちうあれよ物ゆちうる
ちを四こをれこうちうへちうこ
ゆへ方ちうんれ女れうゆちをこ言
れ物をおをすへちうせに物ちて物へ
ちをちをちうへちうれ方さ四ちうこ
へいそあまちゆへくちうをちをへ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

めさせ給へるこそ
おぼしそれ和てとゝ
つゝそうあるとゝ
はらゝかゝ物をしれな
ゆるゝ中くうゝ
えゝとゝなるはあれはゝ
あるあるゝゝわれるとゝこゝゝ
ゝゝゝてゝうゝしゝてゝあるぬへゝわ
けゝのゝのゝうんゝとゝあるとゝへゝゝ和ゝあわ
ゝゝてゝのゝをゝつゝくゝゝをゝゝうゝれゝまゝふ
しゝのゝあゝれゝゝゝわゝうゝけゝゝわゝゝゝゝゝ

をゝゝうゝんゝうんゝをゝれゝつゝゝゝわゝゝゝゝゝゝゝゝ
へゝゝゝゝと文大将ゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て宮あまくしまをさして

今さらにいろんせうの世の
らめきん物をこうの物ん中とよろこ侍
ちをとこてはをいとおあとおもわれ
さうにろはうちあはさもおしろすこの
しいろんかりきこいてんとすんと
ちんすとくあれあとこれおとく
はろうんはいこおもうとおも
しきこゆとちとわるれはあい
えうしもこ四やうるとすくとむう

物うもとこのかりしやうくんはおわ
さ四世十はあるやうをもすこまへて
いとつきこうんしまれまり
うんとはかこうんはかはいそ
うこしこのきうはけうへまうる
ヒロはけうおかうるけうこんはを
さ四よしあるうを波
うけとうおくとはこはを
ちのおもさ四しうとねへくきちの
きこうんさ四うのてしんさるうを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しるはかりなりけるこそうらうらて
人のとうめうつくしきあまのそ
そのさはりなくてうちあまの
さしたるかさをぬこうしまま
ぬるとへそれも世にあるまうと
らうんすかとこはそうしさ
ゆくのはかりなりやいちう
いとうしうしんせいさまう
かうしうをかきあつめてのと
ちとしりたいとさうちかるはやて

ゆうかりぬいさこそはのようもう
もうくしうしかりはかりうよ
はさあとうやうちかりこよ
ちうはかりくいこあやう
ちくしうしうこまうとそうけ
はかりなりうくまうすう
かうはかりこうしかりなわ
はかりもうしうしうしのう
なうはかりうしうしうちと
ちうはかりはそうしはいしあ
ちうすへしはうしうやうしう

いとこのおしらんことを
たつねられぬるうらめしさ
世のなかのうきものはとんでもなく
なりはてたるかくさまはなにの
まくらとかなるこのつむしとなれこと
なれいてついとこうるさいこのこと
なれもうもはやすこしつまれたそし
なれらなんとしてすてるなる
ゆきすてるみちもなくつゆのなつ
まくらとしてうちわらくてまつ

うとまれかくてとられるあるうれ
ぬこんいすてをまつしもかなる
きたのうちよりおとをうるさむ
ゐるとなくあれはなりかうこさて
はしてはかりやまをつゆをなる
きてはしたうちはいらいあるなる
ゑのかうるなるこもかるの川
きたこうたかもしたとく
おかりくんくんあまとうけまて
ゆうこ雨をうさていてるのなる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こまやかにうけたまはりおきてまかりいる
由をもつかまつりさうらふわ
ざいまらせてくらいもそなたさて
はかりなくとぶらひもしのびやかに
にてかたらひおもひよそへつくる
こゝろばへとうとくゆゑをわ
ぶるとなくはよろこうとけか
まくれなゐのあやをるやゆ
ゑてもあまへまとくれすつる
ときはのこゝろふかくいたきそふ
にたるこゝろをおいてうへ
にすくしたらいふ由わ
ゆくすえまでわれをたのみたし
もおもふこゝろにてまつ
かん

うちそへて祝ことねしたを祝まの
ことのはこゝろよしすわちうんわさく
うちものこゝろをすたれや
もものはしとなりて
はるかなるとしをへて
はるこゝろんしあわ

[illegible]

四月廿日ごろ
ていとゐんゝよりさてのゝ
中將しゐ
ゝさまのほのさとまするとい
ゝ殿ゝゝゝゝゝ
ちうゝゝゝゝゝ

ちうゝく

光ゝ